



TEAM FUKUOKA NEWS 2022



福岡県選手団サポートニュース R4. 9.14 Vol.3

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」(会期前競技)～5日目～

福岡県選手団最初の入賞は弓道競技の成年男子！！

弓道競技3日目(9/12(月))は、成年男子遠的決勝トーナメントが行われた。本県選手は、1回戦で岡山県と対戦。一射目は思うように的を射貫けない福岡県に対し、着実に点数を積み重ねる岡山県。中盤以降に福岡県が追い上げを見せるも、惜しくも敗退した。その後、福岡県、三重県、千葉県、新潟県による5～8位決定戦が行われ、福岡県は8位入賞を果たし、本大会を終了した。



【8位入賞成年男子】



【遠的決勝トーナメント】

表彰式終了後、和田稔矢選手(小倉聴覚特別支援学校(教))・渡邊彰文選手(サンパック(株))・山道健史選手(北九州市役所)は「入賞できたのは監督のおかげです。ご指導ありがとうございました。」と久賀一徳監督に感謝の言葉が伝えられた。久賀監督は目に涙を浮かべながら選手の健闘を称えた。

水泳競技飛込少年男女、惜しくも入賞ならず！

日環アリーナ栃木屋内水泳場にて行われた水泳競技飛込少年男女1日目(9/13(火))。

女子高飛込決勝に出場した口脇柚美選手(東海大学付属福岡高校)は、まとまった演技を重ねるも、4本目の演技で思うような演技ができなかった。最終演技で挽回を試みるも総合9位。僅差で入賞を逃した。次の飛板飛込には入賞の期待がかかる。



【梶原朝陽選手】

男子飛板飛込の決勝に出場した梶原朝陽選手(筑紫台高校)は、初めての国体ということもあり、緊張から納得のいく演技ができず総合16位に終わった。この悔しさをバネに次の高飛込につなげてほしい。両選手とも初めての国体出場緊張が見られたが、気持ちを切り替え、2日目(9/14(水))の試合では思い切りのある演技で入賞を目指してもらいたい。



【左：口脇柚美選手
右：梶原朝陽選手】

体操競技少年男子、決勝の舞台で最大の力を発揮！

予選を突破し上位入賞を目指して臨んだ少年男子3日目(9/13(火))。全種目において、気持ちのこもった渾身の演技を披露。演技終了後には、全ての選手からガッツポーズが見られた。「これ以上の演技はできないと思います」と、終了後の濱崎春夫監督のコメントにあるように、選手達は持てる力を出しきって、満足の表情だった。

結果は17位であったが、それ以上に得るものが大きい大会となった。



【大健闘の少年男子】

～TEAM FUKUOKA 今後の予定～

- ・飛込(少年男女)高飛込、飛板飛込決勝競技…14日(水)
- ・競泳(全種別)…17日(土)～19日(月)
- ・新体操(少年女子)…18日(日)、19日(月)